



福島浜通り地域等15市町村における自転車を活用した交流人口拡大に向けた取り組みについて

福島県/経済産業省/(一社)みんなぽうスポーツ・文化コミッション

交流人口拡大アクションプラン

- 令和4年5月に経済産業省と福島県が浜通り地域等15市町村とともに「**交流人口拡大アクションプラン**」を策定。
- 6つのテーマ毎に国・県・15市町村、地域事業者を交えながらワークショップ等を開催し「この地ならではの」コンテンツの創出へ向け取組を進めている。

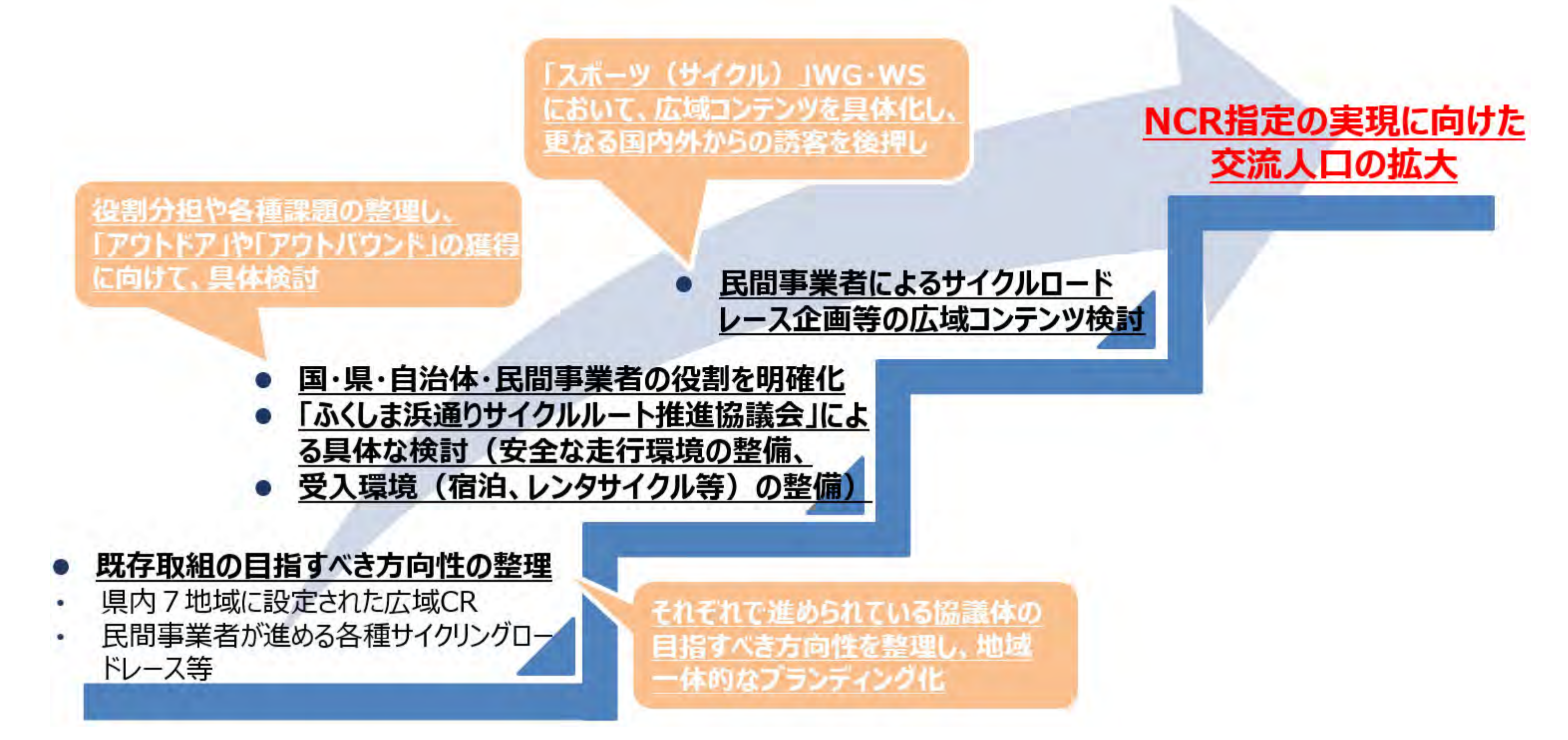
①酒・グルメ(食)	②スポーツ(サイクル)	③山・自然	④海・自然	⑤歴史・文化	⑥芸術
<p>①酒・グルメ(食) PLWGで先行検討</p> <p>・参画市町村: 田村、富岡、川内、大熊、葛尾、飯館</p> <p>✓酒やグルメの産品や料理、風光明媚な自然を楽しむことに加え、生産元の「人」と語り、思いや生き様を体感する。酒・グルメ・人・自然を組み合わせた広域のツアー作り。</p> <p>✓アウトドアやキャンプなどの自然との連携や、シェフや域内外の飲食店との連携、サステナブルな食などのブランディング</p>	<p>②スポーツ(サイクル) PLWGで先行検討</p> <p>・参画市町村: いわき、広野、楡葉、葛尾、新地</p> <p>✓自然豊かな山間や適度なアップダウン、太平洋を見渡す沿岸、そして複合災害を学ぶ伝承館などを繋ぎ、復興により都度変わる「情景」を体感する。15市町村サイクリングルート</p> <p>✓復興を眺望できるビューポイントやおもてなし処の情報発信、地元サイクリングガイドの養成</p> <p>✓サイクリングイベント、サイクリングレイン</p>	<p>③山・自然</p> <p>・市町村: 田村、川俣、楡葉、川内、葛尾、新地、飯館</p> <p>・方向性: 里山・百名山、ダム、渓谷、キャンプ場だけでなく、隠れた魅力を専門家とともに掘り起こし、磨き上げ。</p>	<p>④海・自然</p> <p>・市町村: いわき、相馬、南相馬、楡葉、富岡、新地</p> <p>・方向性: サーフインやSUP、海水浴場や自然公園、アウトドア施設、現地グルメやアパレルとの連携など</p>	<p>⑤歴史・文化</p> <p>・市町村: 相馬、南相馬</p> <p>・方向性: 馬、土産との連携</p>	<p>⑥芸術</p> <p>・市町村: 広野、富岡</p> <p>・方向性: 市町村の持つ芸術・文化資源との連携</p>



▲ワークショップの様子

「スポーツ(サイクル)」の方向性

- 福島ならではの取組に対して、アフターコロナにおいて国内外で大きく盛り上がりつつある「アウトドア」や「アウトバウンド」を掛け合わせ、福島の「**創造的な復興**」を最大限に体感する取組を進める。
- 福島県内でも注目を集める様々なサイクルの取組を海外へ効果的に発信し、「アウトバウンド」を捉え、復興の着実な前進を感じながら確認してもらうため、**ナショナルサイクリングルート(NCR)指定の実現に向けた課題の整理や検討**を進めていく。



ふくしま浜通りサイクリングルート推進協議会の取組

- 福島県は、令和5年7月26日に浜通り等の交流・関係人口の拡大と地域活性化を図ることを目的に、ナショナルサイクリングルート指定を目指す、国・県・市町村・民間事業者等(計49団体)で構成する官民一体の協議会を設立。
- 各構成団体と連携して、魅力あるルートの設定、安全・安心の走行環境及びサイクリング受入環境の整備など具体的に検討する。

受入環境整備

- ・サイクリングガイド育成講座
- ・サイクリングが休憩・宿泊などに利用できる施設として「**サイクルオアシス**」を認定。サイクルラックの設置、空気入れ・工具の貸出を実施。宿泊施設では自転車を施錠可能な場所で自転車を保管できる。
- ・自転車がトラブルが発生した際に修理対応ができる施設として「**サイクルレスキュー**」を認定。
- ・サイクリング指定施設講習会を実施

サイクルオアシス(休憩)

サイクルオアシス(宿泊)

サイクルレスキュー

誘客促進・情報発信

- ・サイクリングインフルエンサーによる情報発信
- ・動画を活用した情報発信

あなたの旅がきっとある
～ふくしま浜通り～

a 阿武隈高地エリア

- ・日本の原風景と人の温もりと優しさに触れるライド

b 相馬エリア

- ・samurai spiritに触れるライド

d いわきエリア

- ・いわき七浜海道
- ・NCR指定に向けた拠点

c 双葉エリア

- ・東日本大震災からの復興の光と影を感じるライド

**浜通り全体を周遊する
全長約300kmのコースを想定**

福島復興サイクリングロードレース

- 福島では公道のサイクリングロードレースが年間10レース以上も開催されており、全国的に見てもサイクリングロードレースの実施基盤が整っている希少な地域として、差別化を図れるポテンシャルを有する。
- そこで、復興が進む福島の今を国内外に発信すると同時に、サイクリングスポーツを通じた広域的な交流人口の拡大と振興を目的に、**福島復興を象徴する様な福島浜通り地域等の広域を舞台とした福島復興サイクリングロードレースシリーズを開催**する。

福島復興サイクリングロードレース 大会一覧

※一部予定

① ツールド ふくしま (2日目) 新地～葛尾	② ツールド ふくしま (1日目) 川俣～飯館
③ ツールド ふたば	④ ツールド かつらお
⑤ エンテューロ そうま	⑥ あぶくま洞HC
⑦ ツールド かわうち	⑧ 磐梯吾妻HC
⑨ スカイパレーHC	⑩ シロテ白河
⑪ 小野小町 RR	⑫ ツールド はなわ
⑬ いわきクリテリウム	⑭ いわきナイトクリテ

Trophée du FUKUSHIMA

福島復興サイクリングロードレースシリーズ

Supported by 福島日産自動車

常磐ものグルメのご案内

～会場では、常磐ものグルメを振る舞い！～

常磐ものフィッシュバーガー 福島の恵み特製ピザ

ツール・ド・ふくしま

- 2日間かけて、15市町村全てを結ぶ国内最大規模のサイクリングロードレース『ツール・ド・ふくしま』を企画。(23年度は豪雨被害により中止)
- 国内最長となる距離211kmで競われるラインレースは、国内随一のスケール。平坦基調の浜通りを一気に駆け抜け、中盤以降は山岳区間が連続し、総獲得標高は3000m近くに達する、タフでチャレンジングなコースとして設定された。
- 経済産業大臣賞、復興大臣賞が付与される唯一の市民ロードレースでもある。

Le Tour de FUKUSHIMA

Trophée du Fukushima Nouveau

2023.9.9sat. 10sun.